

# いなべ市 議会だより

第11号

平成18年11月1日

発行  
三重県いなべ市議会  
編集  
議会広報特別委員会



山郷小学校 秋季運動会

素晴らしい秋空の下で行われた運動会。子どもたちはたくさんの応援に少し緊張しながらも、それをエネルギーに かいっぱい頑張りました。

## 9月定例議会

### 目次

- 14人が一般質問……………P2～P9
- 委員会の審査……………P10～P12
- こんなことが決まりました……………P13
- トピックス……………P14～P15
- 討論(反対v s 賛成)、活動日誌……………P16
- クイズの結果と市民の声……………P17

# 一般質問

## あなたの声を市政に

本定例議会での一般質問は、9月12・13日に14人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

### 岡 英昭



- 1.公共施設の管理・運営の方向性は～経費削減のため～
- 2.「認定子ども園」の設立が認められたが
- 3.専門家による「無料相談センター」の開設を

**【質問1】** 行財政改革の一環として、歳出削減のため、公共施設の廃止・統廃合・民営化など、将来に向けての検証を行うべきと考えるがいかがか。

**【市長】** 石榑保育園を民営化し、青川峡キャンプパークと藤原町の観光用駐車場の運営管理を指定管理者とした。阿下喜温泉の指定管理者への移行については、本議会で検討いただくこととなっている。将来に向けては、員弁西保育園と員弁中保育園の統合を行う。  
今後も、効率化と経費節減に努めていく。

**【質問2】** 「認定子ども園(幼稚園と保育園を合わせたような施設)」の設立が認められた。幼保一元化を推進する上で、すでになされている「藤原幼児教育センター」はどうしていくのか。

**【市長】** 「藤原幼児教育センター」を「認定子ども園」に移行することは必要がないため、現在のと

ころ考えていない。

北勢町の幼保一元化については、保育園の充実を主眼に行いたく、住民と相談しながら徐々に進めていきたい。

**【質問3】** 市民が安心して生活できるよう、専門家による「無料相談センター」を開設してはどうか。  
また、深刻なDVなどの相談に応じる女性弁護士との契約はできないか。

**【市長】** 訴訟などの専門的相談については、県の行政相談所を紹介するなどにより、住民のニーズに応じていきたい。市の顧問弁護士2名(男性)を活用し、将来、必要があれば女性弁護士などとの契約も考えていきたい。



石榑保育園





## 小林俊彦

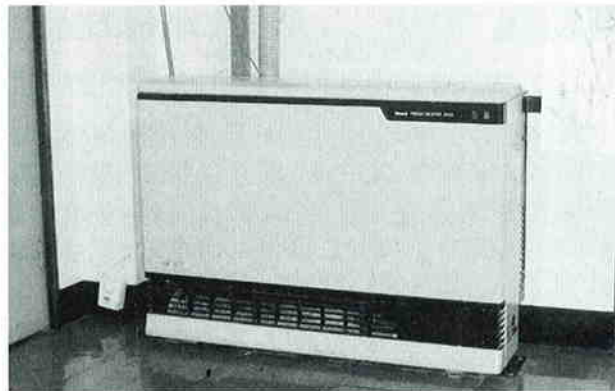
公共施設のガス器具は  
安全か

～不正改造による  
事故をふまえて～

**【質問】** パロマ工業製の小型湯沸器の安全装置が改造され、多数の犠牲者が出た。そこで、以下4点につき尋ねる。①公共施設に設置されている小型湯沸器に該当する機種はなかったか。②ガス器具の設置方法に誤りはないか。③保育園などにある暖房器具の排気設備に不備はないか。④市営住宅などの浴室の風呂釜はどうなっているのか。

**【市長】** ①パロマ工業製の機種が2台設置されていたため、交換を行った。②液化石油ガス保安の確保と取引の適正化に関する法律および同法施行規則に基づき、プロパンガスを供給している業者による設置状況の点検を行っている。③保育園の暖房施設は、排気筒に「スズメ」や「ハチ」が巣を作っていないか点検のうえ、使用するようになっている。なお、

屋内設置のガス器具の使用については、換気を十分にしているよう、周知徹底をしている。④市営住宅の風呂釜は屋外設置になっているため危険はない。



市内の保育所にあるガスファンヒーター

※ガス事業法では、ガス事業者に対し、3年に1度「保安点検」を行うことが義務づけられている。



## 藤本司生

「子ども議会」を  
開催してはどうか

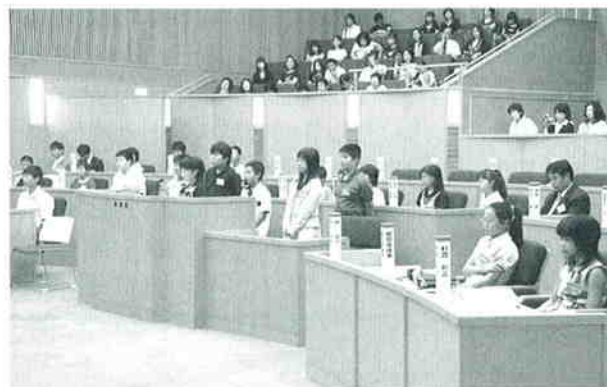
～将来を担う小中学生にも  
政治に関心を持ってほしい～

**【質問】** 8月に鈴鹿市で「子ども議会」が開催された。目的は、子どもたちに行政や市議会のあり方、議員の活動などを知ってもらうため、教育委員会が企画して行ったと聞いている。内容は、鈴鹿市の「子ども議員」が環境・福祉問題などにつき市長に質問。福祉問題では「建物のバリアフリー」、「車椅子利用者の不便解消策」などを、環境問題では、市への提案として、環境美化を進めるため、「啓発看板の設置」を提言し、市の対応を質したそうである。なお、合併前の藤原町においても藤原中学校の生徒を対象に「子ども議会」を開催した経緯があり、そのときも鋭い質問が多数あった。当時の町長が「子ども議員の提案を町政に生かしたい」という答弁を行ったことを記憶している。「いなべ市」においても、ぜひこのような「子ども議会」を開催してほしい。有意義なものになるという確信を持っている。

**【教育次長】** 藤原町での「子ども議会」の成果は、子どもたちが、まちづくりの現状を深く理解することができた点である。「まちづくりのパートナー」としても期待を持つことができた。

反省点としては、初めての試みということもあり、「自由に思いの全て」を述べるまでには至らなかった子が多く、クラスでの事前の十分な話し合いが重要であることを認識した。

なお、開催するには日程の問題もあり、今後は、中学生だけでなく小学6年生も視野に入れ、校長会で検討を行っていきたい。



鈴鹿市で行われた子ども議会





出口 正

- 1.市職員の綱紀粛正を  
～全国的に不祥事が多発～
- 2.野外施設の  
安全対策は万全か

**【質問1】** 公務員による不祥事は、自治体の危機管理における重要課題であり、市民からの批判の発生と信頼喪失の大きな要因となっている。本市での不祥事は現在までないが、職員の倫理的意識を喚起し、市民の信頼を得るために、綱紀粛正を図るべきではないか。

**【市長】** 全国各地で公務員による不祥事が相次いで発生し、厳しい社会的批判を受けている。なお、本市では、このような状況下、公務員の置かれている立場を十分に認識し、市民本位の行政運営に全力を尽くし、全体の奉仕者としての使命を改めて自覚しているところである。疑惑や不信を招く行為は厳に慎むよう、各職場への周知徹底をしている。倫理の確立については、市民の信頼を確保し、服

務規定の遵守に努め、綱紀粛正に万全を期している。さらには、飲酒運転などの交通事故に対する懲戒処分の基準により、交通道德の高揚に努めている。

**【質問2】** 学校内の遊具施設、プールの安全対策はどうか。

**【教育次長】** 体育施設の保守点検は、非破壊安全検査を年に2回（6月・12月）、定期検査は年に3回（2月・8月・11月）実施している。各学校のプールについては問題なく、安全であった。しかし、北勢プールには吸い込み防止金具がなかったため、使用を休止し、すぐに金具の取り付けを行い再開した。



北勢プール



伊藤 和子

- 1.今後の花火大会は
- 2.霊柩車の使用規則  
見直しと存続を

**【質問1】** 合併して丸3年を迎えようとしている今日、市としての一体感を味わいたいという市民の声もある。場所の選定を十分に吟味し、実行委員会の方々にお願いをしていくというような方向で進められているのか。

**【市長】** 実行委員会の方には、「全てのまつり」の終了後に話し合いをしていただくこととなっている。3つの花火大会は、開催に至った経緯が異なるため、統一するかどうかは、市民の皆さんに決定していただきたい。予算は付けるが、市民の皆さんの手により、実行してもらえるようにしていきたい。

**【質問2】** ①北勢斎場の霊柩車の使用規則が市内限定になっている。2台の霊柩車を、利用可能な時間帯に限り、市外でも使用できるように、規則の変更を図るべきである。②霊柩車の利用状況と耐久具合は、今後も存続させるべきと考えるがいかがか。

**【市長・市民部長】** ①市外での利用を許可すれば、時間的な余裕がなくなり、次の使用に支障が生ずる場合がでてくる。そのため、原則として市内に限らせていただいている。②平成17年度は火葬367件のうち、霊柩車の使用が163件。2台の霊柩車は、昭和60年と平成3年の旧北勢町時代に、民間の方から寄付をいただいた。今後、民間委託の方向へと考えているが、市民の皆さんの声を聞きながら進めていきたい。



北勢斎場の霊柩車



## 川崎智比呂

公共料金の改定は  
行うのか  
～水道料金と  
国民健康保険料～

**【質問】** 市長は、平成18年第1回定例議会（3月定例議会）において、「水道料金と国民健康保険料は平成19年度に値上げを行う」と述べた。値上げに向けての検討内容は。また、今後、住民への理解や周知は、どのように行っていくのか。

**【市長】** 国民健康保険料は、先般、国民健康保険運営協議会を開き、その中で賦課方式についての議論が行われた。内容としては、現在の4方式（①所得割・②資産割・③均等割（人員割）・④平等割（世帯割）による算定を、3方式（資産割を廃止）にすることで、全委員からの賛同が得られた。したがって、平成19年度は、全体の総額は変えずに、賦課方式を変更したい。

改定となれば、前年に比べ料金の上がる方も出る

が、前年度と同様の条件であれば、資産の多い方は減ることとなる。全体枠は変えず、今の実情に合わない点についての改善を平成19年度に行いたいと考えている。

水道料金については、現在、「水道基本計画」を策定中であり、この計画に沿った料金体系を構築していきたい。「水道基本計画」は、平成20年度から10年間の送配水網の整備、施設整備などの事業計画を立てることとなっている。今後の財政計画を具体的に示す基礎資料にもなるであろう。平成18年度と19年度の2カ年をかけ基本計画を作成し、その実態を市民の皆さんに公表させていただきながら、水道料金の議論を進めていきたい。



## 鈴木順子



1. マタニティマークの活用を
2. 妊婦健診費の助成を  
行えないか
3. 高齢者の虐待防止への  
取り組みは

**【質問1】** 妊産婦にやさしい社会の構築のため、「マタニティマーク」の活用を「いなべ市」でも行うべきと考えるがいかがか。

**【市長】** 「いなべ市」としても、「マタニティマーク」の啓発を行い、活用の推進を図っていく。「バッジ」・「ホルダー」として装着できるような方法など具体的な検討をしていく。

**【質問2】** 少子化対策のため、また、子育て支援のためにも、市は妊婦健診費の助成回数を増やすべきではないか。

**【市長】** 国の動向を見ながら、平成19年度に向けて検討する。

**【質問3】** 「高齢者虐待防止・介護支援者法」が今年4月に施行された。これは、高齢者虐待の現場への市町村の立ち入り調査を認めるもので、早期立ち入りによる高齢者への虐待防止を目的としている。「いなべ市」としても体制整備が必要である。現状と、今後の取り組みにつき伺う。

**【福祉部長】** 「いなべ市」では過去6件の通報があった。高齢者虐待防止の啓発につき、平成19年2月の情報誌「リンク」に掲載する。

「認知症ネットワークづくり準備会議」を、地域包括支援センターが中心となり、10月に開催する予定である。今後も体制の整備を行いながら啓発に努めていきたい。



マタニティマーク



いなべ市議会だより

位田まさ子



- 1.員弁町の調整区域  
~具体的にどこまで緩和されたのか~
- 2.北勢中・員弁中の給食実施の時期は
- 3.員弁町を走るコミュニティバス  
~市民の要望に対する検討を~

**【質問1】** 6月の県条例制定後、調整区域が緩和されたのはどこまでか。具体的に市街化区域から1kmの範囲をマップなどで示してほしい。

**【企画部長】** 来年の3月頃に、市の申請に基づき、知事が区域の指定を行う予定。区域が指定されれば、「いなべ市」のホームページのGISで、建築可能となる場所を色塗りして掲載する。

**【質問2】** 員弁中学校の給食は、1日約200食であるため、大安給食センターからの配食が可能であると考え。1日も早く実現してほしい。また、北勢中学校の給食は、1日約460食であるため、大安給食センターからの配食は補助員を入れなければ無理だが、自校式で行われる時期は、いつ頃になるのか。

**【市長】** 員弁中学校は、大安給食センターを改修し、給食の供給体制ができるよう検討している。北勢中学校は、隣接地に調理施設を建設し、実施する方向で検討している。時期は明確に言えないが、まず、財政の問題をクリアし、要望に応えられるよう努力していきたい。

**【質問3】** 市民の要望として、①土曜日、日曜日の運行②阿下喜の病院行きの運行③バス停の見直しがある。検討してほしい。

**【市長】** 今後の改善に向け、フォローアップ調査を行う予定。阿下喜の病院行きは、三重交通の路線バスと競合するため、ルートの開設は困難である。



すでに給食が行われている藤原中学校のランチルーム

種村正巳



- 1.員弁・大安連絡道路の計画の状況はどうか
- 2.集中豪雨による溜池の決壊を防ぐために

**【質問1】** ①現在の進捗状況は。②国道421号の関連道路の整備は。③員弁川左岸から東海環状自動車道の大安インターへの乗り入れは検討できないか。

**【市長】** ①この計画は、合併時の新市建設計画の中にもある。県の役割の一つとしても位置付けされている。市も当初から員弁庁舎と大安庁舎を最短距離で結ぶ路線として要望をつづけている。ルートは、事業費面や実効性からも、国道421号の「大泉新田地区」と「いなべ総合学園付近」を結ぶコースが考えられる。そのため、市としては、員弁川に新しい橋を架けるよう強く要望していく。②石樽峠のトンネル工事が始まった。平成23年3月の開通予定である。計画交通量は1日2,700台。それらの状況を見つつ、関連道路の整備も考えていきたい。③計画の変更は不可能に等しい。

**【質問2】** 溜池の決壊を防ぐための取り組みは。

**【市長】** 市内には95の溜池がある。そのうち主要な11の溜池は、5年ごとに三重県土地改良事業団体連合会が主となり、点検をしている。

昨年、国の「農業用溜池緊急点検調査」において、市内57箇所の溜池の点検が行われたが、現状では決壊につながる危険度の高いものはなかった。

4月11日に起きた笠田大溜の災害についての専門家の調査結果は、溜池からの浸潤による崩壊ではないということであった。笠田大溜の災害復旧工事は、本年の6月に完成している。笠田大溜の下の河川は改修工事中である。



笠田大溜





## 奥岡 征士

地域資源の有効活用を  
～「もったいない」の精神を  
忘れずに～

**【質問1】** ①合併して一番効果があったものは。  
②今後、学校などの公共施設の建て替え、改修、再配置、統廃合の方針はあるのか。

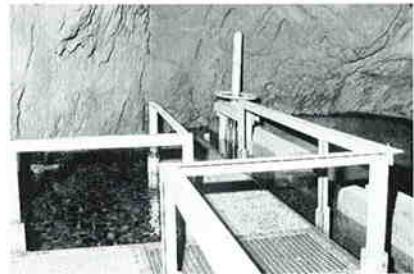
**【市長】** ①各庁舎に総合窓口課を設置し、各庁舎を有効活用していること。②生徒数が少ない藤原町の各小学校の統合は過去の歴史や経緯から難しい。校舎の建て替えも当然の間、必要がないと考えている。北勢町の幼稚園と保育園のあり方や、地域バスの路線整備により、公共施設の統合を図ることについては、今後の検討課題である。

**【質問2】** 豊富で良質な「藤原水源」を市内全域で利用しなければ「もったいない」。市内全域の水源と連携し、ネットワーク化をすることで安定給水と原水コストの低減が図れないか。

**【水道部次長】** 「藤原水源」の市内全域での利用は、万が一に備え、補助的に対処するため、連携やネットワーク化をすることが望ましいが、湧水量や設備投資などを考慮すれば、原水コストの是正策にはなり得ない。

**【質問3】** ①生ゴミの減量と有機栽培に目を向け、資源循環型社会、ゴミゼロ社会を構築していくことが喫緊の課題であると考えがいかがか。②市内の活動家グループ（有機栽培）の実態と市の今後の取り組みや方策は。

**【市長・農林商工部次長】** ①家庭で出た生ゴミは、各家庭で処理し、再資源化や農地還元をしていたきたい。なお、処理機を購入された場合には費用の半額の補助を行っている。②実態はつかんでいないが、有機栽培には取り組んでいきたい。



藤原町にある水源



## 清水 保次

テレビのデジタル化による影響は  
～アナログからデジタルに～

**【質問1】** 小中学校や市役所など、市の施設全体で多くのテレビを使用しているが、今後5年間に全てのテレビを更新するのか。また、どのような影響が予想されるのか。

**【市長】** 現在、市の各施設には79台のテレビがある。そのほとんどは一般の放送を受信するためではなく、ビデオ化された教材を見るなど、ディスプレイとして利用している。従って、買い替える必要はない。

**【質問2】** アナログ放送の終了とともに、各家庭からは、大量のテレビの廃棄が予想される。市としては、各家庭への指導をどのように考えているか。

**【市長】** ブラウン管テレビは、リサイクルが義務づけられている。したがって、粗大ゴミとしては受け取らず、家電販売店で引き取っていただく。今後、デジタル化が進むにつれ、テレビの不法投棄が懸念されるため、市民に対しリサイクル方法の啓発を強化し、不法投棄の予防に努める。

**【質問3】** 市内の一部は、中部電力の高圧線の影響により、電波障害地域となっている。中部電力から補償として、CTYによるアナログ回線の利用サービスを受けているが、平成23年のアナログ放送終了後、この補償やサービスはどのようになるのか。

**【市長】** 補償契約は、中部電力と自治会が直接行なっているため、詳細については認識していない。



デジタルテレビ



## 水貝 一道

自主財源を確保し  
財政基盤の強化を  
～現状と今後の方策は～

**【質問1】** ①市としての対策は。②市の財政状況を示す平成17年度の「経常収支比率」、「公債費比率」、「財政力指数」と今後の見通しは。③平成18年度の税収の見通しは。④経常的経費の硬直化と増加に対する改善策は。⑤一般会計に占める人件費の比率は。⑥合併特例債の70%償還費は交付税に算入されているのか。

**【市長】** ①税収確保、財政基盤の安定のため「優良企業の誘致」、「受益者負担の公正化(公共料金の見直し)」、「公有地の売却」に取り組んでいきたい。②経常収支比率は84.2%、公債費比率が9.9%、財政力指数は3カ年の平均で0.876であった。③現在約82億円を確保した。昨年度以上の決算が見込める。④下水道事業の公債費(借金)があるため厳しい。

⑤平成17年度の人件費の割合は18.7%。一般会計の20%以内に抑えたい。⑥平成17年度は1,769万円、平成18年度には2億2,900万円が算入される。

**【質問2】** ①合併以来新しく進出した企業は何社か。②新しく進出する企業への優遇策は。③職員数削減については。

**【市長】** ①新たに工場を建てた企業は3社。工場の隣地に増設した企業4社。工場敷地内に増設した企業は7社。②工場への道路などのインフラ整備や土地の価格面で他の自治体に負けないよう企業誘致に努めていきたい。③5年間で25人の削減を行うプランを出している。



トヨタ車体の工場付近

## 衣笠 民子

1.介護保険負担の  
軽減を求める  
2.公共料金(国民健康保険料、上下水道料金)据え置き  
の努力を求める

**【質問1】** ①制度改正で公費の介護予防サービスが地域支援事業として介護保険制度に位置づけられた。利用者負担は変わったのか。②新予防給付では、要支援・要介護1だった人の大半が要支援1・2に認定され、今までのサービスが受けられなくなる。後退はないか。③税制改正で、収入が変わらないのに保険料の段階が第1・2・3段階から第4段階に変わった人が約110人。第1・2・3・4段階から第5段階に変わった人が約1,200人いる。2年間の激変緩和措置が終われば大きな負担増となる。保険料、利用料の軽減が必要ではないか。

**【市長】** 利用者負担は、①生きがいデイサービス(食費として500円)、青空デイサービス、介護予防教室と筋力向上を目指すための介護予防事業(無料)。はつらつデイサービス(200円)、介護予防すっきり

コース(200円)。②要支援認定者211名中、ケアプラン作成件数は93件。特殊寝台や車いすの利用ができなくなったため、ケアプランの作成をしなかった人がいる。単なる後退とは認識していない。③国の示す原則に従って運営していく。

**【質問2】** 合併時に、低く設定された公共料金の見直し、所信表明で強調されている。高齢者への大幅負担増、障害者への負担増など市民の暮らしは、厳しさを増している。公共料金の据え置きが必要ではないか。

**【市長】** 国民健康保険料については、資産割を廃止したい。水道料金は、平成18・19年度で基本計画を立てる。



大安庁舎内にある地域包括支援センター





## 石原 瞭

### 障害者施策を問う

～障害者自立支援法の本格  
施行による市への影響～

**【質問】** 障害者自立支援法が10月から本格施行となる。すでに4月から原則1割の「応益負担」が導入されており、利用者の負担増や施設経営の悪化など、同法は深刻な問題点を含んでいる。10月からは、「障害程度区分認定」や「地域生活支援事業開始」などにより、自治体の責任が問われてくる。

今後は、自治体独自の利用者の負担軽減や施設に対する支援策を検討すべきあると考える。

①市における「障害者自立支援法」の施行後の障害者や施設への影響についてはどのように把握しているのか。②10月からの本格実施、新体制への移行により「いなべ市」としてはどのようになるのか。

③「障害福祉計画」は、障害者のニーズに見合うよう、当事者参加により、策定することが重要。策定の進行状況は。④「バンブーハウス」の移転建設に

ともなう予算として、設計監理委託料の補正が提案された。いつ頃までに移転建設を行うのか。⑤員弁町の「コスモス作業所」は、老朽化や手狭であることから建て替えが必要。移転後の員弁中保育園に移ってはいかがか。

**【市長】** 身体障害者施設通所者が昨年比で1名減、知的の入所施設以外の施設への支払額は減額となった。そのため、通所施設は大きな経営的ダメージを受けている。

「バンブーハウス」は公設民営で運営を行う。「コスモス作業所」は、分場としての経営が難しくなる。どう存続させるかを検討しているところである。



員弁町にあるコスモス作業所

## 議会の4大機能と一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、年4回の定例会で行われます。

議会は「議決機関」といわれますが、次のような4大機能があります。そのうちの3つは、一般質問により行うことができます。

### ①住民の声を代弁する機能

・一般質問 ・請願・陳情の審査 など

### ②行政を監視、チェックする機能

・一般質問 ・調査権 ・検査権 ・監査の請求 など

### ③議案を審議する機能

・質疑・討論（本会議・委員会）・修正・否決（採決結果）・公聴会の開催 など

### ④政策提案機能

・一般質問 ・委員会の所管事務調査 → 報告 ・研修視察の報告 → 要望事項  
・決議・意見書（当局に対して） ・議員提案（条例発議ほか） など



# 委員会の活動報告

## 総務常任委員会

### 付託案件の審査（9月19日、5案件）

- 消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定（全員賛成）
- 行政手続条例の一部を改正する条例（全員賛成）
- 三重県市町村職員退職手当組合の規約の変更に関する協議（全員賛成）
- 平成18年度一般会計補正予算（第4号）のうち、総務常任委員会の所管（全員賛成）
- 平成17年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、総務常任委員会の所管（全員賛成）

### 委員会での質疑

#### 補正予算

- Q** 庁舎の書庫整備の内容は。
- A** 現在、各庁舎（4庁舎）で管理している文書などは、北勢庁舎の多目的ホール（旧議場）を書庫として整備する。また、員弁庁舎裏の書庫にも書架を購入し入れたい。



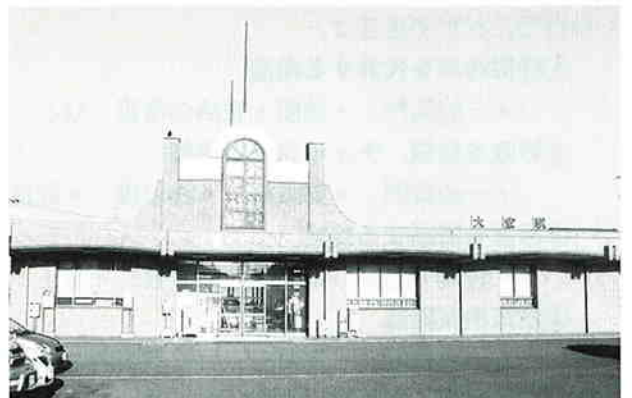
多目的ホール



総務常任委員会

- Q** 行政改革推進委員会の概要は。
- A** 民間の委員を中心メンバーとして立ち上げた。委員数は8人。7月27日に第1回の委員会を開き「いなべ市行政改革大綱」につき、審議をいただいた。今年度内の策定を目標としている。

- Q** 三岐鉄道大安駅に関する建築工事請負費180万円の補正は。
- A** タイルの一部張替えに掛かる費用である。なお、大安駅の管理は市が行っており、三岐鉄道㈱から使用料をいただいている。



三岐鉄道大安駅



## 教育民生常任委員会



教育民生常任委員会

### 付託案件の審査

(9月19日、12案件と3請願)

- 健康増進施設阿下喜温泉条例の制定 (賛成多数)
- 福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 財産の取得について (全員賛成)
- 平成18年度一般会計補正予算(第4号)のうち、教育民生常任委員会の所管 (賛成多数)
- 平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (全員賛成)
- 平成18年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (全員賛成)
- 平成17年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、教育民生常任委員会の所管 (賛成多数)
- 平成17年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定 (賛成多数)
- ☆義務教育費国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元を求める請願 (全員賛成)
- ☆30人学級を柱にした義務制、高校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求める請願 (全員賛成)
- ☆学校安全法(仮称)の策定をはじめとする総合的な学校の安全対策を求める請願 (全員賛成)

### 委員会での質疑

#### 阿下喜温泉

- Q 運営管理を市直営から指定管理者にするメリットは。
- A 住民のニーズに合った柔軟な対応ができるとともに、市の負担軽減が図られるものと考えている。
- Q 増設する休憩施設は、どれくらいの規模になるのか。
- A 面積は100坪(約330㎡)以上必要で、予算は1億円までに収めていけるようにと考えている。今後、十分に検討していきたい。

#### 医療保険

- Q 将来、後期高齢者(75歳以上)への医療保険が始まれば、どのような影響がでるのか。
- A 老人保健からは約4,800人が移行し、対象者となる。今まで被扶養者として保険料を納付していなかっ

た方も保険料を払っていくことになるが、その人数については調査をする。

#### 放課後児童クラブ

- Q 市が家賃の補助を行っているクラブがあるということだが。
- A 市が家賃として上限80万円の範囲内で建物を借り、運営を委託することができることになっている。

#### 介護保険

- Q 平成17年度の決算で、施設介護サービス給付費の不用額が多額になった理由は。
- A いなべ市では、施設入所者が全般的に少ないことにより、給付が少ないことと、介護報酬の「居住費」と「食費」が、平成17年10月から自己負担となり、介護給付の対象から外された点が大きな要因であると推測している。

## 産業建設常任委員会

### 付託案件の審査（9月19日、10案件）

- 観光用駐車場の指定管理者の指定 (全員賛成)
- 平成18年度一般会計補正予算（第4号）のうち、産業建設常任委員会の所管 (全員賛成)
- 平成18年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成18年度水道事業会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成17年度一般会計歳入歳出決算認定のうち、産業建設常任委員会の所管 (賛成多数)
- 平成17年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成17年度水道事業会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)

### 委員会での質疑

#### 観光用駐車場（藤原町坂本地内）

- Q** 指定管理者を指定すると、負担面はどのようなものか。
- A** トイレの電気代・水道代や軽微な修繕などは指定管理者にお願いすることになる。なお、大きな災害による修繕などは市が負担する。



観光用駐車場（西藤原小学校北）

#### 補正予算

- Q** 土地改良事業費の地元負担が20%で統一されたことにより、大安町と員弁町は負担ゼロから20%になった。事業の要望に変化は出ているのか。
- A** 申請件数は昨年度と変わらない。市民から困るというような意見は伺っていない。
- Q** 道路維持修繕の発注状況は。
- A** 平成18年度は維持工事として8月末で100件ほど発注。維持管理工事を合わせると276件で、金額にすると約8千万円となる。

#### 地籍調査

- Q** 地籍調査の対象地と調査が済んだ地区は。
- A** 調査対象地は、山林、農地、宅地などすべてである。調査を行った地区は、阿下喜・鼓・笠田新田・古田地区。

#### 下水道

- Q** 流域下水道の維持管理負担金を平成17年度に約2億7,700万円県へ支払っている。減額の要求はできないのか。
- A** 平成15年に負担金の協定書の締結を行っている。期間は平成19年度までである。そのため、平成20年度に見直しを図る予定。



産業建設常任委員会



## 9月定例議会

## こんなことが決まりました

☆平成17年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の決算を認定しました。

一般会計と特別会計の決算は次のとおりです。

	決 算 額		歳入歳出 差引額
	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	20,013,277,126円	18,259,715,888円	1,753,561,238円
特 別 会 計	13,180,979,397円	12,591,362,302円	589,617,095円

特別会計 ①住宅新築資金等貸付事業 ②農業公園事業 ③国民健康保険 ④老人保健 ⑤介護保険  
⑥農業集落排水事業 ⑦下水道事業 以上、7つの特別会計の合計です。

☆平成18年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算のうち、主なものは次のとおりです。

庁舎耐震補強工事	19,900,000円	員弁庁舎、藤原庁舎付属棟の耐震工事費
書庫整備費	29,829,000円	北勢庁舎多目的ホール、員弁庁舎裏書庫に書架を入れるなどし、書庫としての整備を行う
観光駐車場整備費	2,000,000円	藤原町坂本にある観光駐車場の管理棟の整備費
道路側溝整備費	100,000,000円	地元要望に基づく、道路、側溝の整備を行うための工事請負費
道路改良費	73,494,000円	国からの補助事業による追加工事の請負費など
公共土木施設災害復旧費	46,686,000円	北勢町下平地区土砂災害復旧のための工事請負費など

☆阿下喜温泉の運営管理が、市直営から指定管理者に移ります。

(平成19年7月1日から)

指定管理者制度 — 公の施設の管理運営を市が指定した団体に代行してもらう制度。

☆国民健康保険条例の一部が改正されました。(平成18年10月1日から)

**改正内容** 高齢受給者証および老人保健受給者証をお持ちの方のうち、現役並み所得者(課税所得145万円以上)の方の医療機関での窓口負担割合が2割負担から3割負担になりました。また、「出産育児一時金」が30万円から35万円に、「葬祭費」が3万円から5万円にアップしました。



阿下喜温泉



藤原粗大ごみ処理場

☆藤原粗大ごみ処理場(鼎地内)の用地を買収します。

地元地権者等から用地を借用して運営していましたが、地権者の同意をいただき、議決を経て市が買収することになりました。面積は約37,775㎡。買収予定価格は約7,836万円です。

☆藤原町の観光用駐車場(坂本地内)の指定管理者を指定しました。

「藤原岳もみじの会」を指定。期間は平成18年10月1日から平成21年3月31日まで。



観光用駐車場

## 閉会中の継続審査となった議案

福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(議員発議案)

乳幼児医療費助成につき、通院に対する助成対象年齢を1歳繰り上げ、5歳の誕生日の月末までに拡大するための議案。この議案は、所管の教育民生常任委員会で閉会中に審査を行うことに決定しました。

# トピックス

## 議会にかかわる 「まちの話題」を紹介します

議員が「三重ごみ固形燃料発電所RDF新貯蔵施設(桑名市多度町)」を見学  
～8月に完成し、運用開始～



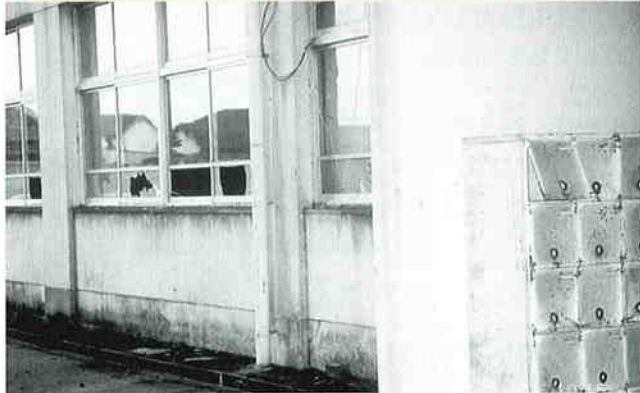
施設内を見学する議員。事故を繰り返さないよう、安全面は万全



RDF搬送コンベアの前で説明を受ける

RDF・・・可燃ごみから作られたごみ固形燃料のこと。  
当施設では、燃料として焼却・発電を行い、広域的なごみ処理の一翼を担うとともに「ごみを電気にリサイクル」しています。

旧員弁高校、閉鎖後5年が経過  
～跡地、校舎の活用について県と検討中～



窓ガラスが割られた状態に



昔の面影が残る校門付近

旧員弁高校は、平成12年度をもって長い歴史の幕を閉じ、いなべ総合学園として現在地に移転し生まれ変わりました。しかし、旧校舎と敷地は、そのまま残されています。

阿下喜温泉まつりが盛大に  
～オープンから約7ヵ月、10月15日に開催～



「もちまき」にも たくさんの人が



阿下喜の街を散策しながらの「オリエンテーリングクイズ」



**ごみ分別の説明会を各自治会で開催  
～分別方法の統一に向けて～**



市内の自治会を順に回り、説明会が行われています。  
(東村西自治会で行われた説明会)

合併後も旧町ごとに、ごみの分別が異なっていました。平成19年4月から統一されます。

**藤原町の水源地（篠立地内）  
～水道水として年間約155万トンを取水～**

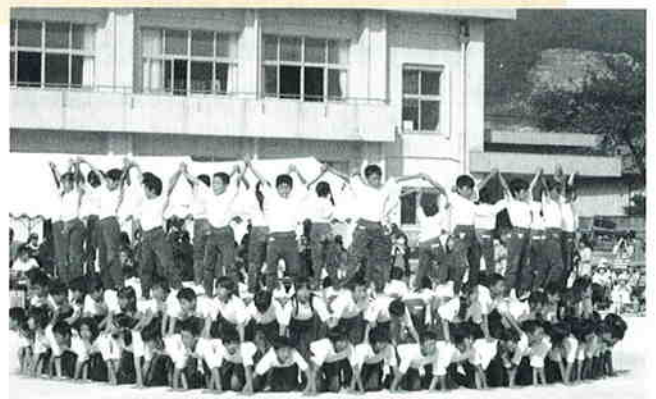


トンネル（約360m）の最深部の水源地。  
藤原町内の上水道はこの水を使用

**スポーツの秋。小中学校で運動会が  
～児童数が最も多い、山郷小学校の秋季運動会(9/30)～**



大きな声援を受け、力走



5・6年生106人による、集団演技

山郷小学校の児童数は326人。市内15の小中学校のうち、最も児童数が多い小学校です。

**委員会の付託審査を省略し、  
本会議で審議を行った議案**

9月26日（9月定例議会最終日）に追加議案として提出された以下6議案の審議を行いました。

- 平成18年度一般会計補正予算（第5号）（全員賛成）
- 「義務教育費国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元」を求める意見書の提出（全員賛成）
- 「30人学級を柱にした義務制、高校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書の提出（全員賛成）
- 「学校安全法（仮称）の策定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書の提出（全員賛成）

- 道路特定財源の確保と地方への配分強化を求める意見書の提出（賛成多数）
- 福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について（継続審査）

**総括質疑**

案件の審査を委員会に付託する前の本会議（9月15日）において、案件に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は以下の5人でした。

- ①川崎智比呂 ②城野 正昭 ③鈴木 順子
- ④石原 瞭 ⑤衣笠 民子

## 反対 VS 賛成

認定第1号「平成17年度一般会計歳入歳出決算認定」は、賛成多数で可決となりましたが、反対と賛成の討論がありましたので、その内容につき紹介します。

平成17年度一般会計の決算額は、歳入が約200億1千万円。歳出が約182億6千万円。なお、実質収支額は、翌年度に引き続いて事業を行うための繰越財源を控除するため、約15億9千万円の黒字となります。

### 反対討論①

いなべ市は、予算額を同規模の自治体の平均に近づけるため、歳出を各課一律に減らすよう指示を行っている。強引な手法である。合併後の自治体は、一定の期間、予算規模が膨らむのは、ある程度やむを得ないと考えられている。そうした中で財政が厳しいからとして、市民要望は取り上げず、我慢を強いている。

また、合併後の統一という名のもと、旧藤原町で行われていた「リトルスター」などの制度を廃止し、体育文化施設については、利用料の値上げや市民にとって、使い勝手の悪くなるような統一が図られてきた。

一方、小学校の新入生への机・椅子の購入は、現場からの要望ではなく、また、住民基本台帳カードは交付数も少なく、必要性が感じられない。さらに、市民の中で十分合意のないまま進められた「平塚3区の道路建設」などは、大いに議論の必要があると考ええる。

中でも、毎年1千万円もの借地料を払う、「野入溜の問題」については、10分の1でも高すぎるといった声もある。市民は、市長の今までの説明では納得していない。

以上により、認定第1号に反対する。

### 反対討論②

石榑小学校の解体工事は、7,800万円を超える額にも関わらず、随意契約という形で予算が執行された。透明性、公平性にも欠けるという観点から、認定第1号に反対する。

### 賛成討論

平成17年度一般会計決算については、絶対多数により、予算が可決され、その目的に沿って適切に執行されたものである。いなべ市は、平成15年に幾多の難問を協議し、三重県のトップを切って合併を成し遂げた。旧4町からの引継ぎ事業は、平成16年に引き続き平成17年度においても数多くあったが、市民との約束どおり執行する義務と責任があった。しかし、国の三位一体の改革によって、市は厳しい財政運営を余儀なくされた。

しかし、いなべ市は、合併以来、各種事務事業を見直し、自らの努力と市民への協力を求めるべく、平成17年度においては、「行政改革集中プラン」をまとめ、これらの推進のための取り組みを行っている。

以上の観点から、認定第1号に賛成する。

## 議会活動日誌

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
8月 1日(火)	北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会 総会	四日市市	9月12日(火)	9月定例議会 本会議 (一般質問)	大安庁舎
2日(水)	桑名・員弁広域連合議会 定例会	桑 名 市	13日(水)	" ( " )	"
10日(木)	北勢5市議会 合同研修会	四日市市	15日(金)	" (総括質疑ほか)	"
22日(火)	議会運営委員会	大安庁舎	19日(火)	常任委員会(総務・教育民生・産業建設)	"
23日(水)	国道421号整備促進期成同盟会 総会	滋賀県東近江市	26日(火)	9月定例議会 本会議《閉会日》	"
24日(木)	R D F 新貯蔵施設 見学会	桑 名 市	29日(金)	議員研修会 (全国都道府県議会議長会前議事調査部長 野村稔氏による講演)	"
28日(月)	議員全員協議会	大安庁舎	10月 4日(水)	員弁川改修事業促進期成同盟会 総会	津 市
"	臨時議会	"	12日(木)	広報特別委員会	大安庁舎
31日(木)	議会運営委員会	"	18日(水)	国道421号整備促進期成同盟会 地方要望	大阪市ほか
9月 7日(木)	9月定例議会 本会議《開会日》	"	23日(月)	広報特別委員会	大安庁舎
"	広報特別委員会	"	25日(水)	議会運営委員会	"





## クイズ当選者



ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、**問1** 19名(人)、**問2** アイバス(Iバス)、**問3** 50名(人)

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

図書券をプレゼントします。

楚原 大橋 春生 様  
北金井 種村 春代 様  
門前 木村 郁福 様  
南中津原 伊藤 了 様  
東町2 細野せつ子 様  
北金井 種村 和春 様  
梅戸 水谷 幸江 様  
大貝戸 藤井さをり 様

丹生川久下 渡部 貞良 様  
丹生川中 山北 和代 様  
北金井 種村 祐紀 様  
北町2 近藤奈理子 様  
中央ヶ丘 井上 瑞夫 様  
梅戸 福井 清香 様  
南中津原 伊藤美智枝 様

※「応募ハガキ」にご記入いただいた個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

## 市民の声

応募された「はがき」に書き添えられた、議会や議会だよりなどに対するご意見・ご感想を紹介します。

小学生や中学生に対し、早いうちから政治に関心を持つよう、議会を見学させたり、夏休みには模擬議会を体験させてはどうでしょうか。 55歳 女性

弱者にやさしい「まちづくり」をしてほしい。「アイバス」にも乗ることができないお年よりも多いのではないのでしょうか。80歳以上のお年寄りを抱えている家族は疲れています。また、同じ議会なのに同じ質問が多いのでは…。 55歳 女性

内容が分かりやすく、活動の様子がよく理解できます。いつも楽しみながら読んでいます。ますます「住みよい市」にしてくださいようお願いします。 女性

北勢中学校も早く給食になることを希望します。 女性

視察研修は、その名のもとに、社会見学に近いものばかりで、庶民生活には何も反映されていません。庶民の失業や年金格差などはどこ吹く風。本当の一般市民のための政治を望みます。また、議員の年収も300万円ぐらいが適切です。 55歳 男性

広報誌編集の取り組みと読ませようとされる心意気が感じられます。 30歳 女性

いなべ市のことと議員さんの努力がよく分かります。 65歳 女性

身近な日常生活に結びつくことが重要ですが、行政は現在と未来の2本立てが基本だと思います。そのことが、現在のいなべ市に欠けているのではないのでしょうか。また、各委員会も民意を忘れていないのでしょうか。問題は内容。現在と未来の討議こそ行政ではないのでしょうか。 67歳 男性

知らなかった議員も写真が載っているため、まちで会っても「あ……あの人」と分かる。「議会だより」を読み、よく勉強させていただいている。分かりやすいので楽しみにしています。一般質問がいいです。 女性

阿下喜温泉「あじさいの里」に、入浴後、リラックスできる「タタミ」の部屋があればという、皆さんの声を聞きます。 62歳 女性

他県の議会で視察研修と称して観光していたことがわかり問題となった。いなべ市議会ではそういうことはないと思いますが、常に市民の代表という気持ちで何事にも取り組んでいただきたい。 46歳 女性

議会だよりは大変分かりやすいので、今後も続行してほしいです。 66歳 男性

# 議員研修会を行いました

テーマは「議員と会派活動、議会の会派運営」



「会派とは基本的に、政策集団として位置づけられる……。」  
内容も豊富で分かりやすい講演でした。（大安庁舎 全員協議会室）

9月29日、全議員を対象に講演会を開催しました。講師は全国都道府県議会議長会 前議事調査部長の野村稔氏。内容は主に会派活動のこと。約2時間の講演のあと、講師に対し、数人の議員が質問を行いました。

現在、本市議会に会派はありませんが、今後、より一層、住民の負託に応えるべく、議会の機能が発揮されることを主眼に置き、今回の講演会の内容も参考にしながら、会派制度をとるか否かも含めた検討を行っていきます。

## 編集後記

今号は9月定例議会の報告です。9月議会は「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目になっています。決算の審議は、既に執行された過去のことではありますが、合併から2年目。数字もよく見ていくと、いなべ市の向かっている方向が見えてきます。

また、いなべ市では、行政改革の1つの手法として指定管理者制度の導入が進められていますが、利点は何か、問題点は何か、議会での議論を参考に考えていただけたらと思います。なお、この件については議会においても、さらに議論を深めていかなければならないと考えています。

議会だよりをこうしてお届けしてきましたが、広報特別委員会の委員の任期は1年なので、とりあえずこのメンバーでお届けするのは最後になります。今まで以上に議会に関心を持っていただけていたら幸いです。



広報特別委員会委員

### 12月定例議会（予定）

- ◆開会日…12月 4日(月)
- ◆閉会日…12月 15日(金)

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。

#### 連絡先

〒511-0292  
三重県いなべ市大安町大井田2705番地  
いなべ市議会 議会事務局  
TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516  
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>